

入 賞

節水から始めよう

下田市立稲梓中学校

三年 渡邊 さん

「節水」と聞いたら、皆どのようなことを思い浮かべるのでしょうか。書いて字のごとく「水を節約すること」と理解してはいても、それを実践している人は、果たしてどれくらいいるのでしょうか。

私が「節水」と聞いて思い浮かぶことは、水道水を使うときにこまめに蛇口を止めることです。例えば、ハンドソープをつけて手を洗っている間など、水を流す必要がなければ止めるべきだと思っています。わずかな時間であっても、毎日の積み重ねで水を大事に使うことができます。私の考える「水をこまめに止める」以外の節水方法を知りたくて祖母と話し合うと、色々なことに気づくことができました。

まず、油汚れが目立つ食器は、紙で拭いてから洗うことです。私は、油汚れが目立つ食器の場合、たっぷりの水かお湯にしばらくつけてから洗うようにしていました。それで節水しているつもりになっていたのですが、この方法を知って驚きました。確かに紙で拭けば、水を使う前の段階で汚れを減らすことができ、節水することができます。早く家で試してみたいと思いました。

また、洗濯の回数を減らすことも節水につながることを知りました。私の家では夜に洗濯をまわしてそのまま干します。分量を考えながら効率よく洗濯しているようなので、

この方法はあまりピンときませんでした。しかし、自然に節水方法の一つを実践していると考えてみると、少し誇らしく感じます。だから、この方法をこのまま続けていこうと母と話しました。

洗濯に関することでもう一つありました。それは、風呂の残り湯を洗濯に使うことです。私の家でも時々お湯を残して洗濯に利用しています。考えてみると、浴槽には多くの水を使います。以前、大きな台風がきた前夜に、もしものために備えようと浴槽にお湯を溜めたままにしました。幸い断水することはなかったけれど、災害時には水がないと困る場面がたくさんあることがわかりました。何かあったときに水のありがたさを実感するのではなく、普段の生活から水を大事にしていくべきだと思います。

外国には、日常的にひどい水不足に陥っている国もあります。それを思うと、蛇口をひねってすぐに水が出て、節水という言葉はあってもそれを強制されているわけではない日本の水資源は、とても恵まれています。外国では、水不足のせいで水紛争と呼ばれる恐ろしい争いが起こっているそうです。日本の水だって無限ではありません。豊かな水という当たり前の幸せに甘んじていると、水不足になつたときにどうすることもできません。そうならないためにも、やはり節水が必要だと思えます。

日本の水資源を大切にするとといっても、中学生である私ができることは限られているかもしれない。しかし、一人ひとりが節水を心がけることで、水が与えてくれる豊かな環境を後世まで繋いでいくことができます。まずは多くの人が水について興味をもつことが必要だと思います。これから私は、節水についてもっと詳しく調べたり聞いたりして、理解したことを周囲に広めていきたいです。水は、私たちの生活になくてならない大切なものだから……。